

通常の学級における きこえにくさのある子どもへの支援



徳島県立徳島聴覚支援学校
地域支援担当

難聴の程度ときこえ方

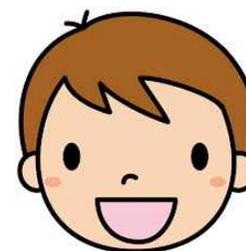
正常	0～25dB	ささやき声がききとれる
軽度	26～40dB	小さい声や騒がしい所での会話がききとりにくい
中等度	41～70dB	大きめの声でないときこえない
高度	71～90dB	耳元で大きな声で話さないときこえない
重度	91dB以上	耳元での大声も理解できないことがある

通常の学級では
さまざまなきこえにくさがある子どもたちが
学んでいます。

- 両耳難聴
 - いつも補聴器や人工内耳をつけている子
 - 授業中だけ補聴器をつけている子
 - 補聴器をつけていない子
- 片耳難聴
- きこえているけれど、きくことが苦手な子

きこえにくい子どもたち

クラスにこんな子どもは いませんか？



言い間違える特定の発音や言葉がある



音の弁別ができるか。構音の問題か。確認をする必要がある。

言葉の数が少ない



簡単な言葉が多い。助詞のない言葉でしゃべる。書くと助詞を間違える。語彙が少ない。言葉に関する課題が多い。

漢字や英語の読みが苦手



濁点を間違える。音を置き換えて覚えている。音読みと訓読みを読み分けられない。しばしば同じ間違いをする。

きこえにくい子どもたちの状況



本人に直接話しかけられたり教えられたりした言葉で言葉を学習する。



覚えやすい単語、周囲の大人が教えやすい単語が中心になり語彙に偏りがある。

抽象的な意味を表す単語をあまり知らない

呼んでもなかなか気づかない



あきらくん。
あきらくーん。

集中していると気づかない。
周囲の雑音が大きいと気づかない。
遠くからの呼びかけに気づかない。

集団におくれる

えっ!?なんで
手を挙げてるの??



問題ができた人は
手を挙げて!

指示がきこえておらず、集団の行動にワンテンポ遅れる。
周りの様子を見て行動するので、指示を出した人は
きこえていなかった事に気づかないことも多い。

聞き返しが多い。よく確認にくる

え?



どこに
書きますか?

言葉はきこえていても、
部分的にききにくいところがある。

集中力が短く、キョロキョロしている

あれ?
何の音かな?

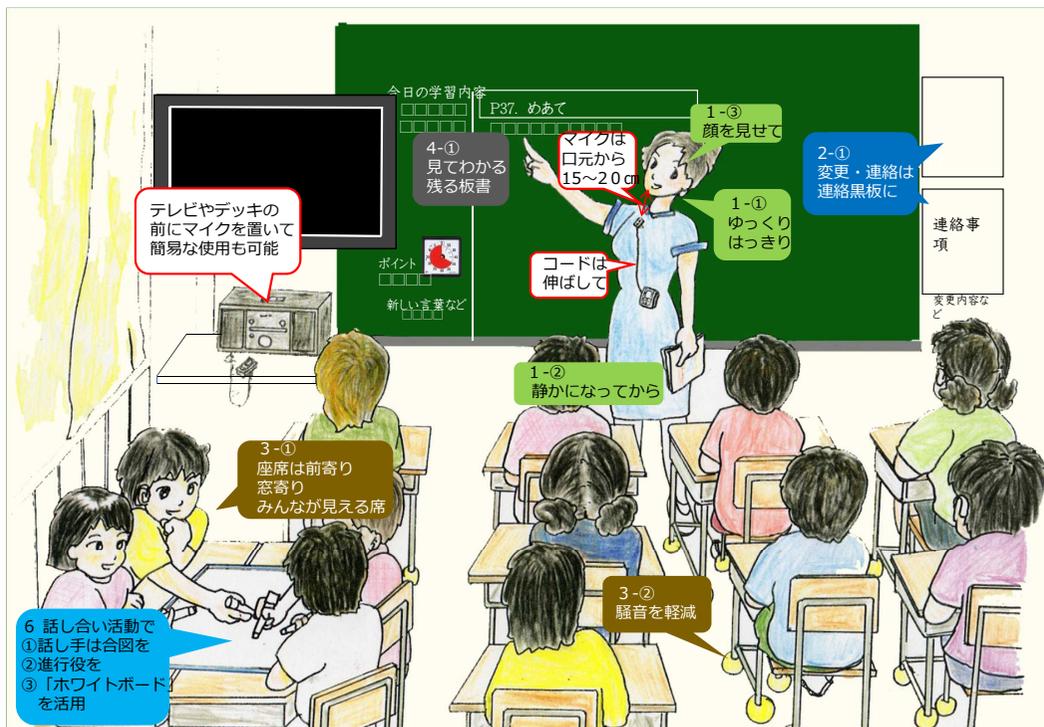


周りの音が気になる。見て確かめたい。
周りが何をしているのか見て確かめている。
きこえやすい耳を音源に向けている。

きこえにくさの体験

★きこえたとおりに書いてください。

★どんなことを気づき、感じましたか。



どんな支援ができるでしょうか

学校生活の中では支援できることがたくさんある



本人たちもそれが 自分のきこえにくさからくるものだという自覚もなく苦勞して学校生活を送っているかもしれない。

少しでも楽にきける環境作りが大切

難聴児に係わる先生方へ

難聴児への理解と配慮をお願いします！

1. 話し方

① ゆっくりはっきり話してください

- ・長く話されると集中力が途切れ、要点がつかめなくなります。
- ・「り・ん・こ」のように1音1音を区切って話すとうまく聞き取れにくくなります。

② 静かになってから話してください

- ・補聴器や人工内耳は様々な音を大きくし、聞き取りを悪くします。

③ 顔を見せて話してください

- ・口の形を手がかりにして、話を聞いています。
- ・マスクは話者の表情や口の形を隠してしまいます。話すときは外してください。

2. 連絡黒板

① 変更や連絡は連絡黒板に書いてください

- ・校内放送の内容は聞き取りにくいので、場所・時間・変更内容がわかりやすいように書いてください。(場所を決める、色を変えるなど)

3. 座席

① 前寄り・窓寄り・みんなが見える席に

- ・「前から2~3列目」「中央~窓寄り」が基本です。
- ・ききやすい場所はその子のきこえによって異なります。

____さんは、
がベストです

② 騒音を軽減する工夫をしてください

- ・ちょっとした物音でも、補聴器で増幅されて騒音となり、聞き取りを妨げます。
- ・四つ足の机やイスの脚にはテニスボールを装着してください。
- ・H型のイスや脚の太いイスには、フェルトを貼ってください。(クラスのお子さんのホコリや化学物質のアレルギ-等には配慮が必要です)
- ・交流クラスだけでなく、隣・上のクラスや特別教室にも装着の協力をお願いします。
- ・テニスボールは無償で提供を受けることができます。

4. 板書

① 見てわかる・残る板書を心がけて

- ・口頭の説明だけでは聞き取れないときがあります。
- ・友達の見本等は聞き取りにくいので、復唱して板書してください。
- ・ページ数・めあて・活動内容や終了時間を黒板に提示してください。

5. 授業の工夫

① 話している人を明確にしてください

- ・「先生は発表する子の名前を呼んで指し示す」「話す人は立つ」ことで、話がぐっと聞きやすくなります。

② 話し始めは合図をしてください

- ・ノートを書いたり作業したりしながらでは集中してきくことができませぬ。

③ 絵や写真など視覚的な資料を用意して

- ・言葉だけでイメージすることが苦手です。
- ・資料の作成等は難聴学級担任がお手伝いします。

6. 話し合い活動

① 話し手は合図をしてください

- ・手を挙げてFMマイクを使ってください。

② 話し合いの進行役を決めてください

- ・だれに注目すればよいかわかって、話し合いの内容がわかりやすくなります。

③ 「ホワイトボード」を活用してください

- ・話し合う項目や、決まったことを書きながら進めていくと、内容がわかりやすいです。
- ・近くの空き教室を活用することで、静かに話し合いができます。

通級指導教室「きこえの教室」について

- ・小・中学校の通常の学級に在籍している児童生徒を対象に、自立活動の指導をしています。
- ・個別指導を基本とし、必要に応じて、少人数グループでの指導も行います。

【学習の内容】

聴覚管理

補聴器や補聴援助システムの装用練習、定期的な聴力測定を行います。

言語

語彙の拡充、文章読解などの勉強をします。慣用句やことわざなども学習します。

障がい認識

難聴に対する理解を深め、状況に応じて周囲との関わりの中で、自らが過ごしやすい環境を調整できる力等を養う学習を行います。

コミュニケーション

グループ学習を通して聞く態度を養い、話す楽しさを味わう経験を通してコミュニケーションスキルも養います。



きこえにくさについて
知ってくれてありがとう



難聴を持つ人のことを知ってほしい・・・
♪なんちょう なんなん♪



『難聴の子を持つ家族会 そらいろ
「なんちょうなんなん」』より



教育相談

「きこえ」や「ことば」について、気になることはありませんか？

本校では、聴覚障がい児を中心に教育相談を実施しています。ご本人、保護者、保育所、幼稚園、こども園、小・中学校、高等学校の先生方、聴覚障がい児にかかわる各諸機関の方等からの相談をお受けしています。

《教育相談（来校相談）》

乳幼児・児童生徒の聴力測定、補聴器の点検、装用相談等を行います。

《特別支援教育巡回相談員による相談（巡回相談）》

巡回相談員が、保育所、幼稚園、こども園、小・中学校、高等学校にお伺いし、きこえやことばに関する相談を行います。電話・来校・オンラインによる相談も可能です。

徳島県立徳島聴覚支援学校

特別支援教育コーディネーターまで
ご連絡ください。

〒770-8063

徳島県徳島市南二軒屋2丁目4番55号

☎ 088-652-8594 ㊟ 088-655-3497

✉ kikoe_soudan@mt.tokushima-ec.ed.jp